

令和3年度

事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

公益財団法人 浜松国際交流協会

目次

事業実施の背景と取り組み	3
事業報告 多文化共生のまちづくり	
1. 相談事業	5
①外国人市民のための多言語生活相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
②入管ワンストップ型相談コーナーの運営（他機関連携事業）	
③出張相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
④法律相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
⑤行政書士相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
⑥在留支援相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）★新規	
⑦税務相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
⑧年金相談（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
⑨中国残留邦人支援事業（市委託：福祉総務課）	
⑩メンタルヘルス相談（市委託：精神保健福祉センター）	
⑪外国人雇用相談（市委託：産業振興課）	
⑫ソーシャルワーク研修（市委託：多文化共生総合相談ワンストップ事業）	
⑬コミュニティ・エンパワメント（市委託：多文化共生センター事業）	
⑭通訳派遣「新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への通訳派遣」★新規	
⑮通訳派遣「オリンピックパラリンピック・ブラジル選手団事前合宿の通訳派遣」★新規	
2. 日本語学習支援事業	12
①日本語学習支援講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
②日本語学習等支援者養成講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
③地域日本語学習支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業、自主事業）	
④浜松市における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（市委託：文化庁）	
⑤外国人学校への日本語教師派遣（市委託：外国人学習支援センター事業）	
3. 外国につながる次世代支援事業	21
①外国人の子どもの不就学ゼロ作戦（市委託：外国人学習支援センター事業）	
②定住外国人の子どもの就学促進（市委託：外国人学習支援センター事業）	
③外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	
4. 多文化防災事業	28
①外国人防災リーダー養成研修（市委託：多文化共生センター事業）	
②災害時多言語支援センター設置訓練（市委託：多文化共生センター事業）	
③災害・防災情報の提供（市委託：多文化共生センター事業）	

グローバル感覚に優れた人づくり

1. 地域共生事業（市委託：多文化共生センター事業） 30
 - ①各地域への個別支援
 - ②かわらばん「おとなりさんは外国人！」発行
 - ③ブリッジビルダー育成
2. 多様性を生かしたまちづくり事業 30
 - ①はままつ多文化共生MONTH(月間)事業（市委託：多文化共生センター事業）
 - ②文化・スポーツ紹介（市委託：多文化共生センター事業）
 - ③地域活性化事業（市委託：多文化共生センター事業）
 - ④インタラクティブ・インターンシップ（市補助：産業振興課）
 - ⑤フェスタ・サンバの運営（実行委員会形式）
 - ⑥シンポジウム「多様性を生かした企業づくり」（市委託：多文化共生センター事業）★新規
 - ⑦浜松市外国人材活躍宣言事業所認定事業（市委託：国際課）★新規
3. グローバル人材の育成と活用 33
 - ①地球人教育出前講座及びコーディネート（市委託：多文化共生センター事業）
 - ②グローバル人材セミナー（市委託：多文化共生センター事業）
 - ③国際理解教育講座（自主事業）
 - ④第12回はままつグローバルフェア（自主事業）
 - ⑤多文化体験・交流事業（市委託：外国人学習支援センター事業）
4. 国際交流・国際理解事業 36
 - 1) 外国語講座
 - ①国際交流のための外国語講座（自主事業）
 - ②国際交流のための外国語サロン（自主事業）
 - 2) 交流イベント(自主事業)
 - ①世界を知ろう！異文化理解講座
 - ③寸劇「ブラジル×日本 融和のあゆみ」
 - ②未来の展示会 ★新規
5. 担い手の育成：ボランティア活動支援事業（自主事業） 38
 - ①HICE ボランティアバンクの運営
6. 担い手の支援：国際交流活動支援事業 38
 - ①多文化共生・国際交流推進事業費助成金の交付（浜松市補助金）
 - ②天竜地域事業（市委託：外国人学習支援センター・自主事業）
 - ③セミナールームの活用（市委託：多文化共生センター事業）
 - ④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：多文化共生センター事業）
7. 情報収集・提供事業 40
 - ①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）
 - ②ホームページのリニューアル・運営（自主事業）
 - ③Facebook の運用（自主事業）
 - ④Instagram の運用（自主事業）★新規
 - ⑤HICE info メールによる情報配信（自主事業）

事業実施の背景と取り組み

2021年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応策を講じながら着実な事業運営の継続に努めた。そのような中で、コロナ感染症予防のワクチン集団接種が始まり、案内や予約に関する多言語情報発信や接種会場への通訳配置などが浜松市から緊急要請され、当協会としては迅速な対応を迫られるなど職員が多忙を極める毎日が続いた。

さらに、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、ブラジルのホストタウンである浜松市では、当協会が事前合宿の受け入れに伴うマニュアルの翻訳から通訳配置まで、言語面でのサポートを全面的に請け負った。これについては臨時的であり多大な労力を要したが、浜松市におけるオリパラの成功に貢献できたと考えている。

さて、多文化共生と日本語学習支援の両分野に関わることとして、当協会のホームページの老朽化を契機に2020年度より新規サイトの検討を開始し、協会・多文化共生センター・外国人学習支援センターの3つの独立したホームページを統合させ、かつ情報の効果的な発信を目指してきた。そして2021年度に具体的な構築作業が始まり、市民目線での丁寧な検討を重ねて2022年2月に「はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト（愛称 HAMAPO）」をリニューアルオープンすることができた。

多文化共生の分野においては、特に2年目を迎えた外国人雇用サポートデスク事業は、マッチングに至った外国人からの紹介により外国人求職者からの問い合わせが増加し、また企業からの外国人就職後の定着支援のニーズも高まるなど、着実に外国人・企業双方の信頼を得てきている。また、年度途中で新規事業として「浜松市外国人材活躍宣言事業所認定事業」を浜松市から受託し、これについても20事業所が認定され、それら企業を含めた外国人材の活躍支援がますます重要となってきた。

日本語学習支援の分野においては、2019年度からの国の総合的な受入体制整備に伴い、土日夜間などの時間的な拡大や外国人が多く居住する地域への面的な展開など、大きく学習機会を広げることに継続して取り組んできた。また、天竜地域においては、常葉大学との連携によりオンラインで学生に参加してもらうなど、日本語教師やボランティアの確保が困難な遠隔地であっても日本語学習の機会を確保する工夫を実験的に行っており、定常的な活動として定着してきている。一方で地域における日本語学習支援については、多文化共生施策の中でも最も基本的かつ重要な施策として全国的に整備が進むが、基礎的なニーズの把握と網羅的な事業展開は緒についたところであり、引き続き整備が求められる。

以上、2021年度を総括すると、当初から予定していたホームページ改定作業に加え、コロナワクチン通訳対応やオリパラのサポートなどの臨時的な事業、さらに年度途中で新規に追加された事業所認定事業への対応など、不安定なコロナの感染状況に常に配慮しながらも一人一人の職員が連携し尽力したことにより着実に執行することができた。

今後は、追加事業に際しては人員の追加配置等の必要な措置を確実にとれるように運営体制への配慮が必須であるとともに、日本語学習支援事業や情報発信事業等、基礎的かつ重要な事業については、専門性の高い職員の配置や育成がますます求められる。

公益 1 多文化共生のまちづくりと グローバル感覚に優れた人づくり

多文化共生のまちづくり

【重点】相談事業 p. 5

多言語生活相談、ワンストップ相談(入国管理)、出張相談、法律相談、行政書士相談、
税務相談、年金相談、中国残留邦人支援、メンタルヘルス相談、ソーシャルワーク研修、
コミュニティ・エンパワメント、通訳派遣

★新規：在留支援相談、通訳派遣（コロナワクチン集団接種会場、オリパラ事前合宿）

【重点】日本語学習支援事業 p. 12

日本語教室、支援者養成講座、教職員多文化共生講座、地域日本語学習支援
浜松市における地域日本語教室の総合的な体制づくり推進、外国人学校日本語教師派遣

外国につながる次世代支援事業 p. 21

外国人の子どもの不就学ゼロ作戦、定住外国人就学支援教室、キャリア支援

多文化防災事業 p. 28

外国人防災リーダー養成研修、災害時多言語支援センター設置訓練、災害・防災情報の提供

グローバル感覚に優れたひとづくり

地域共生事業 p. 30

各地域への個別支援、かわら版発行、ブリッジビルダー育成

多様性を生かしたまちづくり事業 p. 30

多文化共生 MONTH、文化・スポーツ紹介、地域活性化事業、インターンシップ
フェスタ・サンバの運営

★新規：「多様性を生かした企業づくり」シンポジウム、外国人材活躍宣言事業所認定

グローバル人材の育成と活用 p. 33

地球人教育出前講座、グローバル人材セミナー、国際理解教育講座、
グローバルフェア

国際交流・国際理解事業 p. 36

外国語講座、交流イベント★新規：未来の展示会、寸劇「日本×ブラジル融和のあゆみ」

地域創造の担い手の育成と支援 p. 38

ボランティアバンクの運営、助成金交付他

【重点】情報収集・提供事業 p. 40

HICE NEWS、Facebook、メール配信、情報カウンター

★新規：Instagram、ホームページリニューアル（HAMAPO）

多文化共生社会の推進

多文化共生センター

外国人学習支援センター

事業報告

多文化共生のまちづくり

1. 相談事業

①外国人市民のための多言語生活相談（市委託：ワンストップ事業）（6,701件）

■言語別件数内訳

（件）

言語	曜日	時間	相談件数
ポルトガル語	毎日	9:00～17:00	2,491
スペイン語	火・木・日	13:00～17:00	266
フィリピン語	火・木・土	13:00～17:00	530
中国語	土曜日	13:00～17:00	84
ベトナム語	火・木・土	13:00～17:00	270
インドネシア語	土曜日	13:00～17:00	0
英語	月曜日～金曜日	13:30～16:30	566
日本語	毎日	9:00～17:30	2,492
その他			2
合計			6,701

■問い合わせ手段

（件）

来訪	電話	その他（手紙、メール等）	合計
1,056	3,517	2,128	6,701

■内容別件数内訳

（件）

内容	件数	内容	件数
入管手続	190	日本語学習	127
雇用・労働	1,995	防災・災害	6
社会保険・年金	119	住宅	47
税金	198	結婚・離婚・DV	145
医療	174	交通・運転免許	55
出産・子育て	29	通訳・翻訳	270
子どもの教育	101	その他*	3,245
合計		6,701	

*その他は、交通事故、金融、人間関係等が含まれる

②入管ワンストップ型相談コーナーの運営（他機関連携事業）（152件）

入国管理局との連携で専門相談の窓口を開設。

毎週水曜日 9:00～12:00、13:00～17:30 相談件数：延べ152件

③出張相談（市委託：ワンストップ事業）

- ・5月25日（火）コロナ対策連絡者会議（派遣会社対象）（参加者：4社5人）
- ・6月4日（金）コロナ対策連絡者会議（派遣会社対象）（参加者：5社9人）
- ・6月30日（水）コロナ対策連絡者会議（外国人学校対象）（参加者：2社2人）
- ・7月7日（水）コロナ対策連絡者会議（派遣会社対象）（参加者：5社9人）
- ・7月28日（水）コロナ対策連絡者会議（派遣会社対象）（参加者：3社5人）
- ・11月4日（木）、1月27日（木）、3月5日（土） 外国人経営店舗訪問（3日間）ブラジル人、ベトナム人、ペルー人、フィリピン人等が経営する雑貨店やレストランを訪問し、新型コロナウイルス感染症対策の情報提供や感染症の拡大に伴い仕事を失うなどして生活が苦しくなっている人や事業者向けの支援制度等について情報提供した。（参加者：7件）

④法律相談（市委託：ワンストップ事業）（107人）

弁護士による法律相談

毎月最終木曜日、土曜日 計22回開催

相談者数 延べ107人

協力 静岡県弁護士会浜松支部、関東弁護士連合会（11月の拡大法律相談）

⑤行政書士相談（市委託：ワンストップ事業）（46人）

行政書士による相談

毎月木曜日および土曜日 計22回開催

相談者数 延べ46人

協力 静岡県行政書士会西遠支部

⑥在留支援相談（市委託：ワンストップ事業）（21人）

審査管理部門在留支援による相談

毎月木曜日第一木曜日 令和3年6月開始 計10回開催

相談者数 延べ21人

協力 名古屋出入国在留管理局

⑦税務相談（市委託：ワンストップ事業）（80人）

日時 令和4年1月30日（日）9：30～16：30

令和4年2月5日（土）9：30～16：30

内容 外国人を対象に、通訳（ポルトガル語、タガログ語）をつけてスムーズに確定申告が行えるよう支援した。

参加者 相談者80人、スタッフ・通訳3人、税理士10人

協力 東海税理士会浜松西支部

⑧年金相談（市委託：ワンストップ事業）（12人）

日時 令和3年4月22日（木） 13：00～16：00

令和3年11月25日（木） 13：00～16：00

内容 免除申請方法、将来もらえる年金額など

参加者 相談者12人

協力 東・西年金事務所

⑨中国残留邦人支援事業（市委託事業）（120件）

中国在留邦人とその配偶者で、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対し生活支援費を給付する際の業務補助、相談、通訳等の支援のための相談員を配置した。

日時 週3日 13：00～17：00（87日）

配置場所 市内区役所（中、南、東）

相談員 1人

相談内容 病院にかかる際の言葉の心配、介護サービス申請の支援、子弟の教育や就職など

相談件数 延べ120件

対象 8世帯10人

⑩メンタルヘルス相談（市委託事業）

心理士2人を配置し、ポルトガル語でのメンタルヘルス相談及び精神科等への同行通訳を行った。

■メンタルヘルス相談（409件）

日時 週5日 9：00～17：00 週2日（火・金）は13：00～20：30

件数 延べ 409 件（カウンセリング 364 件、相談 45 件）（前年度 495 件）

[カウンセリング 364 件の内訳]

相談者実数	128 人
新規	84 回（23%）
継続	69 回（19%）
出身国	ブラジル人 339 件（93%）、ペルー人 25 件（7%）
年齢	大人 320 件（88%） 子ども 44 件（12%）
時間帯	昼間 312 件 夜間 52 件

内容 コロナウイルスとウクライナの戦争は相談者に影響を与えた。カウンセリングのプロセス中に感染し、治療を中止するケースもあった。中にはワクチンの副反応や効力を疑問に思い接種に関して抵抗があり不安とストレスが生じた。

ウクライナの戦争については多くの相談者がこれから起きうる危機に対して心配や安全について恐れる気持ちが見られた。

相談者によっては、仕事及び収入の減少、経済が安定しない等外部からの脅かしにより、夢やプランを諦めざるを得ない状況に迫られ相談に来た。そのような状況が引き金となり、内面上解決していない問題、支えを得られないかも知れない恐れ、死への恐怖、身近な人を亡くす不安と今の生活を変えないといけないことが主な悩みであった。

課題 精神病院や精神科クリニックで統合失調症の治療を行っている患者が心理的サポートを求めて訪れるがカウンセリングを行っても、患者によっては表現、理解、決断力に欠けており、家庭や社会の中での生活に支障がある。また、職場では継続して勤めることや信頼関係を築くことが難しい。

欲求不満により、複雑な人間関係に陥り、侮辱、すれ違い、フラストレーションが原因で和解が困難となる。子どもが関わると更に複雑化して問題解決が難しくなる。

親が一方的にカウンセリングをすすめて来る場合（特に母親が娘を連れて来る時）、子どもの自由意志が尊重されず、子どもはありのままの自分を表現できないため、親子の間で起る対立を解決するための作業が難しい。

過保護に育てた子どもの我がままをカウンセリングにより解決しようとして来る場合、子どもが無関心で治療のプロセスが思うようにいかない。

■通訳派遣（315 人）

ポルトガル語通訳派遣 延べ 292 件（依頼数 361 件、うちキャンセル 69 件）（前年度 404 件）

少数言語通訳派遣 延べ 23 件（依頼数 26 件、うちキャンセル 3 件）

（フィリピン語 15 回、ベトナム語 7 回、英語語 1 回、インドネシア語 2 回、中国語 1 回）

内容 今年度の新規ケース数は前年度に比べ大きな変化はなかったが、同行通訳依頼数は前年度に比べ減少した。コロナ関係による受診の延期やキャンセル、電話での受診、新規患者の再診が必要ではない又は来なくなった、日本語が理解できるので 1 回のみで終了等が、減少原因の一部として考えられる。

性別は男性がやや多く、大人の患者が増えた。

入院患者は 2 名だけで入院期間も短かったため、週 1 回程度の通訳が長期に至ることはなかった。

病院 2 カ所、発達医療機関 2 カ所からの同行通訳依頼が多かった。発達医療機関については、放課後デイサービスへ通うために児童発達支援事業所からの説明等も含めて通訳を行うこともあった。

最初は子どもが受診し、その後親や兄弟姉妹が受診するケースが目立った。

HICE のメンタルヘルス相談を紹介してカウンセリングを受けることになった患者の家族もいる。反面 HICE のメンタルヘルス相談へ来た方を精神科へ繋ぐケースもあった。

子どもに関しては、言葉の遅れ、多動性、注意欠乏、不眠、スマホを離さない、思うようにいかない等が主な訴えとしてあげられた。

大人に関しては、不安、不眠、うつ等が多かった。

特別児童扶養手当と自立支援医療制度の手続きを行うための相談及び受診日の日程の変更、キャンセル、日常生活等の相談が増える傾向にある。

課 題 同じ病院で数名の患者を対応する時、ドクターがそれぞれいる場合や、診察後、特別児童扶養手当及び自立支援医療制度の手続きに関する相談を行う事になった時は時間の調整が難しい。同じ病院へ一日2回行くこともある。また、2回行かなくて済むように、病院で待機せざるを得ないこともある。新規の患者を受け入れてくれる病院が少なく、受け入れてくれても受診まで時間がかかる状態である。

■発達に困難を抱える外国人の子どもと保護者の支援者向け研修会（242人）

■少数言語通訳者養成講座（27人）

【第1回～4回】

- | | | | | |
|-----|---|-----------|-------------|---|
| 日 時 | ① | 7月24日(土) | 13:30～15:30 | 「子どもを「行動」でとらえて見よう「できた！」を見つけて、ほめて伸ばす」 |
| | ② | 7月31日(土) | 13:30～15:30 | 「大丈夫？子どもの様子がいつもとちがう。。。どうすればいいですか？」 |
| | ③ | 11月20日(土) | 13:00～15:00 | 「子どものこころ・行動に対するよい対応について考えてみよう」 |
| | ④ | 11月20日(土) | 15:30～17:30 | 「子どものこころ・行動に対するよい対応について考えてみよう - 練習をしてみよう」 |

講 師 奥村 明美氏（浜松医科大学子どもこころの発達研究センター 特任助教・公認心理師）
土屋 賢治氏（浜松医科大学子どもこころの発達研究センター 特任教授・精神科医）

参加者 ①一般支援者：延べ242人（言語：日本語120人 ポルトガル語66人 英語22人 スペイン語12人 中国語10人 ベトナム語6人 フィリピン語2人 インドネシア語2人 韓国語2人）録画配信
②少数言語通訳者の候補者：延べ27名（言語：中国語6人 フィリピン語6人 ポルトガル語4人 英語4人 ベトナム語3人 インドネシア語4人）会場にて受講

■メンタルヘルスに関する啓発講習会（小集団活動）（3人）

テーマ「思春期（子育てと教育）」

日 時 10月30日(土) 13:30～15:00

場 所 多文化共生センター

参加者 ブラジル人 3名

内 容 ディスカッション（アイデアと経験を語り合う）

■ブラジル人託児所児童の保護者に対する養育能力向上のための講習会（152人）

日時	場所	参加者数
10月15日(金) 9:00～11:00 指導者向け研修	アウテルナティバ	子ども35名 指導者7名
10月29日(金) 9:00～11:00 指導者向け研修	ラピス・デ・コロ	子ども73名 指導者11名
11月28日(日) 10:00～12:00 指導者向け研修	ラピス・デ・コロ	保護者12名 指導者1名
3月6日(日) 9:30～11:30 保護者向け研修	アウテルナティバ	保護者12名 指導者1名
内容：心理分析士 ヴァンデル デビデ氏による研修。ブラジル人託児所指導者の悩み相談対応及び子どもの様子を見て場合によっては専門家を紹介保護者向けに子どもの発達についての講話		
成果：託児所はすぐに気になっている子どもを紹介し、園長も気軽に悩みを専門家と相談した。信頼関係が構築されている様子が見られ、具体的なアドバイスを受けることができた。		

⑪外国人雇用相談（市委託：産業振興課）（260人、103企業）

浜松地域の産業を担う人材・労働力を確保するため、市内企業等を対象に外国人労働者の受け入れに関する相談及び外国人の就労に関する相談窓口を設置し、求人と求職のマッチングを行った。

相談員 3人（うち1人は国家資格キャリアコンサルタント）

■全体件数

(人)

	令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2繰越	年度累計
新規求職登録者数		6	3	5	7	7	9	7	3	4	3	5	2	61	199	260
HICE紹介件数		8	4	5	2	3	3	4	5	5	2	2	2	45	74	119
採用(内定)件数		1	1	3	1	1	0	0	1	3	0	2	0	13	28	41
登録月別支援終了者数	令和2年度に登録し3年度になって支援が終了した人 24	-	4	1	2	2	6	1	2	2	0	0	1	21	76	121
新規求人企業登録数		5	2	6	4	6	5	2	5	4	6	1	2	48	55	103

■採用件数（13人）の内訳

雇用形態	人数
正社員	11
パート（無期雇用）	2
計	13

性別	人数
男	4
女	9
計	13

年代	人数
20代	9
30代	1
40代	3
50代	0
60代	0
計	13

国籍	人数
ブラジル	3
インドネシア	2
タイ	3
バングラデシュ	1
インド	3
スリランカ	1
計	13

採用前在留資格	人数
永住者	2
定住者	1
留学	2
特定活動	3
技・人・国	3
教授	0
日本人配偶者	2
計	13

業種	人数
製造業	9
教育	1
金融保険業	1
小売業	2
計	13

職種	人数
専門的・技術的職業従事者	6
包装等従事者	3
事務従事者	1
農林漁業従事者	0
サービス職業従事者	2
建築従事者	1
計	13

■採用件数（13人）の内訳

	性別	年代	国籍	業種	職種	雇用形態	採用前在留資格	採用後在留資格	インターンシップ経由	現在の状況
1	女	20	インドネシア	製造業	技術職	正社員	留学	技人国	○	就労中
2	男	30	スリランカ	建設業	研究職	正社員	技人国	技人国		就労中
3	女	40	タイ	小売業	品出しレジ	パート	日本人の配偶者等	日本人の配偶者等		2022年2月末契約終了
4	女	20	インド	製造業	技術職	正社員	技人国	技人国		就労中
5	女	40	ブラジル	小売業	事務職	正社員	永住者	永住者		就労中
6	男	20	インド	製造業	海外営業	正社員	留学	技人国	○	2022年4月入社予定（大学院新卒）
7	女	40	タイ	教育	英語講師	パート	日本人の配偶者等	日本人の配偶者等		就労中
8	男	20	インドネシア	製造業	技術職	正社員	特定活動	技人国		就労中
9	女	20	タイ	製造業	技術職	正社員	特定活動	技人国	○	2022年4月入社予定（大学院卒）
10	女	20	インド	製造業	海外営業	正社員	技人国	技人国		就労中
11	男	20	ブラジル	建設業	配管工	正社員	永住者	永住者		2022年4月入社予定（専門学校卒）
12	女	20	ブラジル	金融保険業	営業職	正社員	定住者	定住者		就労中
13	女	20	バングラデシュ	製造業	技術職	正社員	特定活動	技人国		2022年4月入社予定（大学院卒）

■セミナー「外国人材の活躍・定着のためのポイント」 対象：企業 形式：オンライン

日時 11月5日（金）13：30～15：00

参加企業 23社

内容 「外国人材の採用から定着まで企業に求められる心構え」

講師：野末友貴子（キャリアコンサルタント）

「外国人材活躍促進事業について」浜松市国際課より情報提供と説明

■セミナー「浜松で働くあなたに役立つ情報」 対象：外国人求職者 形式：オンデマンド配信他

配信先 雇用サポートデスク登録者70名、一般外国人求職者（ホームページHAMAPOで公開）

内容 働く前の準備、仕事を探す場所や機関、給与明細の見方、仕事上の問題の相談先など

⑫ソーシャルワーク研修（市委託：ワンストップ事業）（69人）

内容 市や各機関・企業等の通訳や相談員が、多種多様な通訳場面や相談に対応するために、専門的知識を習得し、外国人市民の生活支援にあたるためのノウハウや心構えを学ぶ研修を行った。

対象 各機関で外国人の通訳や相談にあたるバイリンガル人材、外国人支援者

（ブラジル、ペルー、中国、フィリピン、インドネシア、日本、ベトナム）

日時	テーマ	講師	参加者数
7月15日（木） 15:30～17:30	外国人支援制度について	HICE職員 HICEベトナム語相談員	7人

11月6日(土) 09:30~11:30	消費トラブル相談について	吉松恵子氏 (公社) 全国消費生活相談員協会	7人
12月4日(土) 10:00~12:00	個人事業主のための確定申告セミナー	浜松西税務署 職員	10人
12月9日(木) 14:00~17:00	通訳者のメンタルヘルス	ヴァンデル デビデ (ブラジル人心理分析士)	18人
1月22日(土) 10:00~11:30	難民支援について学ぶ	鶴木由美子 (NPO 法人難民支援協会)	22人
3月12日(土) 10:00~12:00	在留支援制度について	名古屋出入国在留管理局 審査管理部門 在留支援担当	5人
合計			69人

⑬コミュニティ・エンパワメント (市委託：多文化共生センター事業) (34人)

内容 国籍別・言語別にそれぞれのニーズに応じてテーマを設定し、各言語によるセミナーを行った。

対象 各外国人コミュニティの一般人

日程	テーマ	講師	参加者数
11月21日(日) 10:00~11:30 会場：多文化共生センター	(ブラジル人対象) 「デジタル化に備えるためのセミナー」	エレウテリオ クラウジア (オンライン・インストラクター) ブラジル総領事館職員	7人
12月19日(日) 10:00~11:30 会場：多文化共生センター	(ブラジル人対象) 「在日ブラジル人のための新たな調停方法について」	石川エツオ氏 国際弁護士 (NPO 浜松ブラジル人協会)	10人
2月19日(土) 10:00~12:00 会場：多文化共生センター	(ブラジル人対象) 「老後に備えるためのセミナー」	浜松東年金事務所 職員	5人
2月20日(日) 10:30~12:00 会場：多文化共生センター	(フィリピン人対象) 「通訳者の技法について」	吉富志津代 (NPO 法人多言語センターFACIL 理事長)	12人
合計			34人

⑭通訳派遣「コロナウイルスワクチン集団接種会場への通訳派遣」

時期 9月18日(土)~27日(月)、10月9日(土)~18日(月)

11月6日(土)~7日(日)

3月6日(日)~27日(日) 日曜日のみ

派遣先 市内集団接種会場 2~3か所

言語 ポルトガル語2名、英語・フィリピン語・ベトナム語・中国語 各1名ずつ

⑮通訳派遣「オリンピックパラリンピック・ブラジル選手団事前合宿の通訳派遣」

時期 7月9日(金)~8月27日(金)

派遣先 市内宿泊先ホテル5か所、練習会場各地

言語 ポルトガル語52名

2. 日本語学習支援事業

①日本語学習支援講座（市委託：外国人学習支援センター事業 3,901人（前年度5,348人））

在住外国人に対して日本語支援を行う地域日本語教室。日常生活を行う上で必要な日本語コミュニケーション能力を学ぶ初級クラスと、ひらがな、カタカナ、初級レベルの漢字、読解等を学ぶ読み書きクラスを開催。また、下半期には初級クラス修了レベルの方を対象とした、自立した言語使用者を目指すための中級クラスを試行した。

協働団体：With U-Net/受講者数 延べ3,901人

■初級クラス

	講座名	回数	日程	受講者
第1期	初級	107	4月12日～9月28日	961人
第2期	初級	103	10月4日～3月14日	1,235人

■読み書きクラス

	講座名	回数	日程	受講者
第1期	読み書き	40	4月20日～9月21日	761人
第2期	読み書き	40	10月12日～3月10日	603人

■中級クラス

	講座名	回数	日程	受講者
	中級	45	10月1日～3月25日	341人

②日本語学習等支援者養成講座（市委託：外国人学習支援センター事業）

■日本語学習支援ボランティア養成講座（335人）

地域における日本語学習支援で必要とされる知識を学ぶボランティア養成講座を開催。

協働団体：はままつ国際理解教育ネット、With U-Net、NPO 法人おおさかこども多文化センター、NPO アラッセ、そらの会、KSC 子どもサポーターズクラブ、浜松市教育委員会
全16回/各期 年2期

	期間	受講者
第1期	6月7日～10月4日	延べ197人
第2期	11月12日～3月18日	延べ138人
合計		335人

プログラム：日本語文法の入口、異文化理解体験ワークショップ、外国語学習体験、浜松市における外国人児童の現状、ボランティア体験、やさしい日本語実践体験（U-ToC 日本語教室の学習者と防災訓練を体験）

■日本語ボランティア実地研修（75人）

日本語教室を見学し、他者の活動内容や教授技術を学ぶ。

教室後の振り返りに参加し、参考になった点や気付いた点を述べ技術を高め合う。

見学シートを提出し、他者の教室活動を客観的に評価するとともに自己研鑽に努める。

日本語教室・初級クラス	延べ26人
日本語教室・中級クラス	延べ6人
日本語教室・読み書きクラス	延べ43人
合計	延べ75人

■日本語学習支援者スキルアップ講座（297人）

日本語学習支援者を対象とした日本語教育に関する知識を学ぶ講座。全6回

回	日時	内容	講師	受講者
1	6月2日（水） 14:30～15:00 他 6月4日（金） 13:30～14:00 他	Zoom 接続練習会	大谷真矢、河口美緒、 シムキュマン、塚本悠之介（HICE）	40人
2	9月8日（水） 13:30～15:00	やさしい日本語で教材を作ろう！	内山夕輝（HICE）	11人
3	11月22日（月） 13:30～15:00	地域日本語教師のための CEFR 入門①	奥村三菜子 （YYJ・ゆるくてやさしい日本語の なかまたち）	69人
4	11月22日（月） 15:00～16:30	地域日本語教師のための CEFR 入門②	奥村三菜子 （YYJ・ゆるくてやさしい日本語の なかまたち）	69人
5	3月15日（火） 13:30～14:45	地域日本語教室における 漢字学習支援① ※読み書きクラス支援者 向けワークショップ	新矢麻紀子、小野木愛、高詰祐子、 齋藤里佳、新庄あいみ （「生活の漢字」をかんがえる会）	43人
6	3月15日（火） 15:00～16:30	地域日本語教室における 漢字学習支援②	新矢麻紀子、小野木愛、高詰祐子 （「生活の漢字」をかんがえる会）	65人
合計				297人

■教職員多文化共生講座（47人）

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教職員（外国人支援者を対象）の夏季集中講座。

協力：浜松市教育委員会「外国人児童生徒指導リーダー研修会」

1, 2, 3回：8月4日（水）9:15～12:15

4回：8月30日（月）13:30～16:30

回	時間	内容	講師		受講者
1	9:15～ 9:45	外国人学校（ムンド・デ・アレ グリア学校）の見学	松本雅美	ムンド・デ・アレグリア 学校	16人
2	9:55～ 10:55	ブラジルの学校と日本の学校の 文化の違い	椎木マリナ	セメンチ パラ オ フトゥーロ （外国人保護者の会）	
3	11:15～ 12:15	「ひょうたん島問題」から 多文化共生を考える	内山夕輝	公益財団法人浜松国際交 流協会（HICE）	
4	13:30～ 16:30	SDGs（持続可能な開発目標）か ら国際理解を考える	山口鮎美	公益財団法人日本ユニセ フ協会 学校事業部	31人
合計					47人

③地域日本語学習支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業、自主事業）

■日本語学習支援団体ネットワーク会議

日本語学習支援団体間の情報の共有や共通課題の克服のためにネットワーク会議を開催。
参加者数 16人「放課後学習支援団体情報交換会」

回	日時		参加団体	参加者
1	3月24日 (木)	13:30~15:00	浜松市教育委員会、浜松国際交流協会、放課後支援団体（龍の会、そらの会、浜名小外国人学習ボランティア、KSC子どもサポーターズクラブ、ゆうさくコミュニティスクール土曜学習）	16人

■地域日本語学習コーディネート業務

養成講座修了生による自主グループの立ち上げを支援するとして「おしゃべりタイム」の支援を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度の活動も引き続き休止とした。

■日本語学習支援ボランティアコーディネート

日本語ボランティア養成講座修了生の活動支援等 49件

日本語ボランティア養成講座では、修了生を対象に丁寧な活動支援を行ってきた。市内のボランティア団体に養成講座修了生を紹介したり、両者のマッチングに同席したりすることで、修了生がスムーズに活動を始められるようコーディネートした。

■日本語コーディネート（自主事業）

地域日本語学習支援団体への日本語教師募集協力 1件
個人への日本語プライベートレッスンマッチング 3件
静岡文化芸術大学 日本語教育実習受け入れ 1件

実習期間	令和3年10月14日～11月5日	
人数	大学生2名（静岡文化芸術大学） 担当教員：佐野由紀子先生（文化政策学部国際文化学科教授）	
教室	U-ToC 初級クラス	
内容	10月14日（木）	オリエンテーション&ひらがなカタカナ授業見学
	10月18日（月）	・できる日本語（初級）授業見学 ・模擬授業（30分×2人）※佐野先生来所
	10月19日（火）	できる日本語（初級）授業見学
	10月22日（金）	授業登壇（30分×2人）
	10月29日（金）	授業登壇（60分×2人）
	11月2日（火）	授業登壇（1.5時間×1人）
	11月5日（金）	授業登壇（1.5時間×1人）

■高校生への日本語支援事業（自主事業）

【日本語学習支援教室】

派遣先 静岡県立浜松工業高等学校（定時制）（4月15日～7月15日 計12回）

対象者 4人

派遣者 日本語教師1人

■地域における日本語学習支援業務

地域や外国人コミュニティとの連携により、ニーズを踏まえた日本語学習支援教室を開催。

○フィリピン人児童・生徒を対象とした就学支援教室（ハロハロ教室）（664人）

協力 NPO法人フィリピンナガイサ

会場 南部協働センター

期間	曜日	時間	参加者（延べ）		
			ボランティア	初期適応教室	寄り添い教室
5月15日～3月19日 (全30回)	土曜日	13:30～15:30	124人	68人	472人

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による来日制限がある中で、昨年度と比べると参加者が増加した。日本生まれ・日本育ちのフィリピン人児童が増えたことやまん延防止等重点措置期間中でもオンラインで教室を実施したことが継続的な参加に繋がった理由として考えられる。また、同教室出身の大学生・高校生がバイリンガル講師として参加したことで、生徒に近い立場で相談に乗れるようになった。外国人特別枠での高校受験の相談に乗ったり、高校選びのアドバイスをしたりと活躍している。日本育ちのフィリピン人児童生徒にとって、教室内で家族以外と母語を使って話をすることは、母語の持つ位相差を意識するなど母語保持の場にもなっている。保護者からは、呼び寄せや、進級、進学など幅広い相談を受けた。その他にも、支援関係者からの相談（フィリピン事情、フィリピンの教育、在留資格など）や見学も増えている。

○ベトナム人の子ども学習支援（ティントゥオン教室）（592人）

協力 静岡県ベトナム人協会
会場 三方原協働センター

期間	曜日	時間	参加者（延べ）	
			未就学児	小学生
6月2日～2月23日 (全32回)	水曜日	18:00～20:00	93人	499人

8月第1週までは対面で教室を行えたが、下半期からはオンラインへの移行を検討した。10月からは隔週で対面とオンラインを実施。人数が少なくなって静かに落ち着いて学習できるという利点もあった。尚、幼児と1年生に限ってはオンラインが難しい（落ち着いてできない、保護者が立ち会えないなどの理由）ということから毎週対面で行った。オンラインでは互いに競い合って学習する様子が見られた。講師が教材を工夫して子どもたちが楽しみながら参加できた。

未就学児は、全くひらがながわからなかった子ども書けて読めるようになった。1年生は、とても丁寧に字が書けるようになった。集中力もついて、国語の教科書も上手に読めるようになった。2年生は、元気に本読みをし、九九が言えるようになった。とても素直で返事もでき成長を感じた。3～5年生はそれぞれ競い合って学習できた。集中力や自立する力も付いたと思われる。6年生は、日本語で話せるようになり、自分からおしゃべりするようになった。国語の教科書も上手に読み、内容も理解できていた。

○浜北日本語教室（498人）

協力 浜北国際交流協会
会場 浜北文化センター 他

期間	曜日	時間	会場	参加者（延べ）
4月3日～3月26日 (28回)	土曜日	13:30～17:00	浜北文化センター	484人

日本語スピーチコンテスト

- ・開催日 令和4年1月29日（土）
- ・会場：浜北文化センター「日本語教室」、オイスカ浜松国際高等学校、浜名高等学校
- ・出場者 14人（学生の部5人、一般の部9人）
- ・来場者 無し 会場に向いて撮影。審査は行わず、全員に「奨励賞」を授与（録画した動画を配信）

④浜松市における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業（市委託事業）

浜松市の日本語教育体制の整備・充実を図るため、文化庁事業補助金を活用し、令和元年に策定した日本語教育推進方針を基に地域日本語教育体制のさらなる充実を図った。

取組 1：総合調整会議の設置

取組 2：総括コーディネーター・地域日本語教育コーディネーターの配置

取組 3：浜松地域日本語学習支援ネットワーク会議の開催

取組 4：大学との連携による日本語教育人材の養成

取組 5：浜松市日本語教室の地域展開

取組 6：企業と連携した外国人支援者養成（やさしい日本語）

取組 7：日本語デジタルコンテンツの充実

取組 1：総合調整会議の設置

構成委員 年間3回開催（1.5時間×1回、2時間×2回）

氏名（敬称略）	所属及び役職
金城アイコ	NPO法人アラッセ代表理事
金子和裕	浜松経済同友会事務局長
神吉宇一	武蔵野大学グローバル学部准教授
坂本勝信	常葉大学経営学部教授
澤田直子	浜松市教育委員会教育総合支援センター外国人グループ長
嶋田和子（座長）	一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事
竹下知宏	学校法人浜松日本語学院校長
丹野清人	東京都立大学人文社会学部教授
佐藤洋一	公益財団法人浜松国際交流協会業務執行理事
鈴木三男	浜松市企画調整部国際課長

取組 2：総括コーディネーター・地域日本語教育コーディネーターの配置

事業を総括する総括コーディネーターを配置し、NPO、企業、大学らと連携し、浜松市における地域日本語教育体制を整備するため、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、地域内の日本語教室への指導・助言等を行う地域日本語教育コーディネーターを配置した。

氏名		所属
内山夕輝	総括コーディネーター 地域日本語教育コーディネーター兼任	公益財団法人浜松国際交流協会
河口美緒	地域日本語教育コーディネーター	
染葉麻愛美		

取組 3：浜松地域日本語学習支援ネットワーク会議の開催

市内の日本語教室開催団体間の連携を図るため、浜松地域日本語教室ネットワーク会議を開催した。令和3年度は第3次浜松市多文化共生都市ビジョンにおける地域日本語教育領域施策の充実を目指すため、現状の課題の洗い出しや解決策に向けた提案作成を議題とした。

開催日時	議題	参加団体数
1月15日（土） 10:00～12:00	・今後必要だと考える日本語学習機会の提供と多言語サービスのバランスについて ・10年後を見据えた日本語教育体制について	15団体 21人

取組 4：大学との連携による日本語教育人材の養成

■浜松市主催 WEB セミナー大学と連携した地域日本語教育に携わる人材養成のあり方

浜松市における地域日本語教育推進に向けた考え方や方向性を示した「地域日本語教育推進方針」の推進施策に掲げる「日本語教育に携わる人材の養成」の取組をより具体的に進めていくため、令和3年度から実施予定である常葉大学との連携事業をモデルとして、大学と連携した地域日本語教育に携わる人材養成のあり方を考える機会として開催した。

日 時	6月19日(土) 14:00～16:00
会 場	オンライン(Zoom ウェビナー)または、後日動画視聴
参加人数	300人(内訳:当日視聴 123人、後日視聴 177人)
講 師	第1部基調講演「地域日本語教育推進に必要な人材とは」 スピーカー：松井 孝浩(文化庁国語課 日本語教育専門職) 第2部パネルディスカッション「大学と連携した地域日本語教育に携わる人材養成のあり方」 パネリスト：坂本 勝信(常葉大学 経営学部教授) 谷 誠司(常葉大学 外国語学部教授) 望月里緒菜(常葉大学 学生代表 外国語学部4年) 吉川 太陽(常葉大学 学生代表 経営学部2年) 古橋 広樹(浜松市国際課) コメンテーター：松井 孝浩(文化庁国語課 日本語教育専門職) モデレーター：内山 夕輝(公益財団法人浜松国際交流協会)
アンケート	第1部基調講演「地域日本語教育推進に必要な人材とは」(文化庁)の内容はいかがでしたか? 【大変良い43、良い32、普通15】 パネルディスカッション「大学と連携した地域日本語教育に携わる人材養成のあり方」の内容はいかがでしたか? 【大変良い42、良い39、普通7、あまり良くない2】 山間地域の学習者を対象とした教室を大学と組んで行うことが素晴らしいと思った。ICTを使ってボランティアの人も一緒に教室にいるという授業形態がとてもいいなと思いました。

■天竜日本語教室における ICT 活用授業(常葉大学連携推進事業)

国際交流基金が作成した ICT 教材(いづれ)を活用しながら、常葉大学にて日本語教員養成課程の科目を受講する大学生9名と学習者による対話活動を設け、交流も行った。

大学生には教案づくりから実際の授業までを行ってもらい、常葉大学教員2名(常葉大学 坂本勝信教授、谷誠司教授)が教授法の指導を行った。

令和3年度は学習成果を披露する場として12月に教室内発表会、令和4年2月に第12回はままつグローバルフェアではワクワクドキドキ天竜日本語教室発表会を大学生が主体となり企画し開催した。

授業形式にはハイフレックス(Hybrid-Flexible)形式を用いて対面型+同期双方型のオンライン授業を行った。天竜日本語教室の学習者、日本語ボランティア、運営者(HICE)は教室に集まり、常葉大学の学生と教員は自宅などからオンライン会議システム(Zoom)を使い参加した。

回	日時	形式	授業テーマ等	参加者数
1	6月27日(日) 10:00～11:30	ハイフレックス	自分のことを分かりやすく相手に紹介できる	24人
2	7月25日(日) 10:00～11:30	ハイフレックス	自分の出身地をみんなに分かりやすく紹介できる	23人
3	9月26日(日) 10:00～11:30	オンライン	趣味の紹介ができる	16人
4	10月24日(日) 10:00～11:30	ハイフレックス	1～3回のオンライン授業の復習と話せるトピックを多くする	16人
5	11月28日(日) 10:00～11:30	ハイフレックス	スピーチ原稿を作成する	20人

6	12月19日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	天竜日本語教室発表会	36人
7	2月13日(日) 12:30~14:00	オンライン	ワクワクドキドキ天竜日本語教室 発表会 in 第12回浜松グローバル フェア持ち込み企画	55人
8	2月20日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	発表会の振り返り	20人
9	3月6日(日) 10:00~11:30	ハイフレックス	連携授業の振り返り	18人

■天竜日本語教室発表会

趣旨：令和2年度から常葉大学と連携して、月に1度、ICTを活用した遠隔での日本語学習の機会を設けている。令和3年度は学習成果を披露する場として、初の教室発表会を企画し開催した。

日時	12月19日(日) 10:00~11:30
形式	ハイフレックス (対面会場は二俣協働センター)
参加人数	36名 (対面23名、オンライン9名)
内容	学習者は自己紹介・仕事・趣味の他、自分の国や町について発表した。発表スピーチとスライド(PPT)は学生がリモートで作成のサポートを行った。発表会後半ではポスター発表を行い、外国人市民である発表者と日本人市民が交流した。オンライン上にいる大学生は学習者と日本人市民との会話が深まるよう、やさしい日本語を使い交流を促した。

■ワクワクドキドキ天竜日本語教室発表会 in 第12回はままつグローバルフェア

趣旨：発表会を通じ学習者がより地域社会に溶け込み、ともに生きていくことを目標とし、参加者の方々とのやさしい日本語での交流を通して多文化共生社会実現への架け橋に貢献する機会とする。

日時	2月13日(日) 12:30~14:00
形式	オンライン
参加人数	55名
内容	常葉大学生による外国語 de 発表 外国語学部の学生4名による韓国語、中国語、ポルトガル語でのスピーチを聞きながら、外国語である日本語のシャワーを浴びる外国人の気持ちを体験した。
	天竜日本語教室学習者による日本語 de 発表 発表に合わせて作成したスライドと共にタイ、インドネシア出身の7名が自分の国や家族、日本での仕事や休日の過ごし方、日本でやりたいことを日本語で発表した。
	話してみよう！やさしい日本語 de グループトーク (Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用) 発表内容について、3つのグループに分かれ進行役の大学生を中心に外国人発表者とやさしい日本語で交流を行った。

アンケート：回答数19

質問	回答
発表会の内容はいかがでしたか？	とても良い68.4%、良い31.6%
大学生による外国語 de 発表はいかがでしたか？	とても良い52.6%、良い42.1%、普通5.3%
日本語学習者による日本語 de 発表はいかがでしたか？	とても良い73.7%、良い26.3%

話してみよう！やさしい日本語 de グループトークはいかがでしたか？	とても良い 47.4%、良い 36.8%、普通 15.8%
アンケートコメント	
学生の熱意が伝わり、誠実な雰囲気伝わった。発表者の方々が、日本を好きだということが感じられ、私も外国のことをもっと学びたいと思った。12月の教室発表会から更に磨きをかけて発表されているなど感じました。大学生(日本人)が大学で学んでいる外国語を使って発表するという企画がとても良いと思ました。互いに学習成果を出し合う対等な場になりますね。	

取組5：浜松市日本語教室の地域展開

外国人学習支援センターの日本語教室を広域展開し、令和3年度は新たに東区を加え市内4か所にて、ひらがな・カタカナに特化した日本語教室を開催した。教材には令和2年度に作成した「ひらがなカタカナ練習帳」を使用した。

■ひらがな・カタカナクラス 夜間コース（オンライン授業）

業務受託団体：公益財団法人浜松国際交流協会

期	期間	開催区	開催数	延べ受講者数
1	4月6日(火)～4月29日(木・祝) 19:00～20:30	西区 (外国人学習支援センター)	8回	52人
2	6月1日(火)～6月24日(木) 19:00～20:30		8回	24人
3	8月3日(火)～8月31日(火) 19:00～20:30		8回	16人
4	2022年1月4日(火)～2022年1月27日(木) 19:00～20:30		8回	30人

■ひらがな・カタカナクラス 週末コース 浜北区（対面授業）

業務受託団体：特定非営利活動法人フィリピンナガイサ

期	期間	開催区	開催数	延べ受講者数
1	5月8日(土)～5月29日(土) ①13:00～14:30 ②14:30～16:00 (2コマ/日)	浜北区 (浜名協働センター)	8回	24人
2	10月2日(土)～10月23日(土) ①13:00～14:30 ②14:30～16:00 (2コマ/日)		8回	46人

■ひらがな・カタカナクラス 週末コース 南区（対面授業）

業務受託団体：静岡県ベトナム人協会

期	期間	開催区	開催数	延べ受講者数
1	7月10日(土)～7月31日(土) ①13:00～14:30 ②14:30～16:00 (2コマ/日)	南区 (白鷺協働センター)	8回	24人
2	10月30日(土)～11月27日(土) ①13:00～14:30 ②14:30～16:00 (2コマ/日)		8回	28人

■ひらがな・カタカナクラス 週末コース 東区（対面授業）

業務受託団体：特定非営利法人浜松日本語日本文化研究会

期	期間	開催区	開催数	延べ受講者数
1	10月2日(土)～10月30日(土) ①13:00～14:30 ②14:30～16:00 (2コマ/日)	東区	8回	40人

2	12月4日(土)～12月25日(土) ①13:00～14:30 ②14:30～16:00 (2コマ/日)	(蒲協働センター)	8回	50人
---	---	-----------	----	-----

■学習者アンケート結果(令和3年4月～令和4年1月に開催した9教室合計) 回収数 37

クラスは良かったですか		これからも日本語の勉強をつづけたいですか	
とても良い	33	はい	35
良い	4	いいえ	0
ふつう	0	分からない	2

ひらがなカタカナ練習帳はどうでしたか?	
とても良い	33
良い	4

どんな時に「日本語を書くことができた/読むことができた!」と感じましたか。
<p>新しい仕事を探し始めたとき。 最初は何も知らなかったが、ひらがな・カタカナが読めるようになりました。書くのはもう少し練習が必要です。 ひらがなとカタカナで書かれているラベル、名前、アナウンスが読めます。 幼稚園の説明書や本が読めました。 息子の学校から“しらせ”がきたときからです。 市役所の案内書が読めたとき。 名前を書くことができました。</p>

取組6：企業と連携した外国人支援者養成(やさしい日本語)

総括コーディネーターが企業に出向いて、日本人従業員を対象としたやさしい日本語研修を実施した。研修には「やさしい日本語研修ワークブック(HICE監修)」を用いた。

■企業内やさしい日本語研修第1回

日 程	6月3日(木) 14:00～15:30
企業名等	静岡県グリーンツーリズム協会西部支部
参加人数	17人 (フラワーパーク、ホテルリステル浜名湖等)
講 師	内山夕輝 (浜松国際交流協会・文化庁補助事業総括コーディネーター)
アンケート	<p>とても良かった13人、良かった4人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が難しいかがわかってよかった。 ・自社制作のやさしい日本語を添削してもらいたい。

■企業内やさしい日本語研修第2回

日 程	11月23日(火・祝)
企業名等	浜松市診療所看護職研修会
参加人数	12人 (各診療所の看護職の方々)
講 師	内山夕輝 (浜松国際交流協会・文化庁補助事業総括コーディネーター)
アンケート	<p>とても良かった10人、良かった2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常診療の中でも外国人の受診が増えており、言葉の壁や文化の壁を感じていたので今日の講義が実践に活かせ、勉強になった。 ・法人内の医療関係者全ての職員にも参加して貰いたい研修だった。そのため再度開催か若しくは、講演会をお願いしたい。

取組7：日本語デジタルコンテンツの充実

令和3年度新たに作成された「はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト (HAMAPO:ハマポ)」にて、日本語教育コンテンツのページを開設した。

平成9年3月に文化庁地域日本語教育事業で浜松市が作成した入門テキスト「やらまいか日本語」*を改訂しデータ化。令和2年度に作成した「ひらがなカタカナ練習帳」のデータ(PDF)もダウンロード可能である。

また、浜松国際交流協会の公式 YouTube チャンネルに日本語教室や校外学習、租税教室の様子の動画を43本作成した。750viewを超えた動画もあり、広く発信する契機となった。



*やらまいか日本語広報チラシ

⑤外国人学校への日本語教師派遣事業（市委託：外国人学習支援センター事業）

外国人学校児童生徒への日本語学習支援のため、市内に所在し、本国政府の認可のある外国人学校に対して日本語教師を派遣する。

学校名	教員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	学校計
ムンド・デ・アレグリア学校	年間5人	70	72	83	76	66	63	72	75	58	71	60	65	831
イーエーエス伯人学校	年間3人	96	53	126	113	94	96	103	119	53	83	208	235	1,379
エスコラ・アウカンセ	年間2人	76	25	88	68	57	64	69	72	60	46	63	72	760
計		242	150	297	257	217	223	244	266	171	200	331	372	2,970

3. 外国につながる次世代支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）

① 外国人の子どもの不就学ゼロ作戦事業

調査対象者となった就学年齢の外国にルーツをもつの子供に対して、訪問等で就学状況を確認し、状況に応じて就学につなげるための支援を実施した。

■就学状況の把握

調査内容

	調査項目	回数	対象
A	新小学校1年生	1回（第1回調査）	4月に小学校1年生相当の年齢になる外国籍の子供
B	次年度新中学校1年生	1回（第4回調査）	次年度4月に中学校1年生相当の年齢になる外国籍の子供
C	転入者	6回	新たに浜松市に転入してきた外国籍の子供
D	退学者	6回	公立小学校、外国人学校等を退学した外国籍の子供

調査対象者数

(人)

	調査項目	調査対象者	訪問調査前に就学や異動等が確認された者	訪問調査対象者
A	新小学校1年生	24	11	13
B	次年度新中学校1年生	36	27	9
C	転入者	44	28	16
D	退学者	85	60	25
合計		189	126	63

調査方法

訪問回数（不在含む）	135回
訪問により面会できた件数	52件
訪問時は不在だったが、差し置き資料により連絡があった件数	18件
外国人学校・教育総合支援センターへの照会件数	42件

■令和3年度に行った6回の調査の結果

項目			報告時点	
調査対象者 (189人)	浜松市に 居住 (142人)	就学 調査及び支援等により、調査期間中に就学が確認できた者(95人)	公立小学校	26人
			公立中学校	3人
			私立小学校	0人
			私立中学校	0人
			市内の外国人学校	64人
			市外の外国人学校	2人
		就学が確認できなかった者(40人)	就学支援教室・学習施設等に在籍あり	29人
			就学支援教室・学習施設等に在籍なし	11人
		その他対象外案件 (7人)	市教委に相談あり、手続きが進んでいる段階	2人
			母国の通信教育を自宅学習している者	4人
	母国や外国人学校等で中学を卒業した者		1人	
	長期休暇等で来日(母国で在学中)		0人	
	居住実態なし 訪問調査等により、転居・転出・ 帰国が確認できた者(47人)	居住実態なし(空室・別住民在住)	15人	
		親族等から一時帰国を確認した者	28人	
国内外への転出		4人		
合計			189人	

【就学が確認できなかった者の属性】

1) 国籍

国籍	人数
ブラジル	36人
ベトナム	1人
ペルー	3人
合計	40人

2) 相当学年

小学校	人数
1年生	11人
2年生	1人
3年生	3人
4年生	3人
5年生	5人
6年生	4人
合計	27人

中学校	人数
1年生	5人
2年生	5人
3年生	3人
合計	13人

小・中学校合計 40人

■ケースに応じた支援

《令和3年度に行った6回の調査で就学が確認できなかった者の現在の状況》

(支援・継続調査・就学支援教室への在籍確認等による動向：令和4年3月31日現在)

項目			年度末時点	
就学が 確認できな かった者 (40人)	浜松市に 居住 (36人)	就学 継続調査及び支援 等により、就学に 結びついた者 (20人)	公立小学校	1人
			公立中学校	1人
			私立小学校	0人
			私立中学校	0人
			市内の外国人学校	18人
			市外の外国人学校	0人
	実質不就学 (16人)		就学支援教室・学習施設等に在籍あり	9人
			就学促進教室・学習施設等に在籍なし	7人
	その他対象外案件 (0人)		市教委に相談あり、手続きが進んでいる段階	0人
			母国の通信教育を自宅学習している者	0人
			母国や外国人学校等で中学を卒業した者	0人
			長期休暇等で来日(母国で在学中)	0人
			居住実態なし(空室・別住民在住)	1人
居住実態なし 継続訪問調査等により、転居・ 転出・帰国が確認できた者 (4人)		親族等から一時帰国を確認した者	0人	
		国内外への転出	3人	
		合計	40人	

■実質不就学(全体)が継続した者の内訳 (令和4年3月31日現在)

*令和2年度からの継続者6名を含む

	項目	人数
実質	就学支援教室等 本国政府認可外の学習施設に通っている	8人

不就学 (22人)	に在籍あり(14人)	就学支援教室等に通っている(予定含む)	6人
	就学支援教室等に在籍なし(8人)	学校や支援教室に通っておらず、就学予定なし、帰国予定なし	1人
		就学予定あり	5人
		転出予定	2人
全体の合計			22人

【不就学者の属性】

1) 国籍

国籍	人数
ブラジル	21人
ベトナム	1人
ペルー	0人
合計	22人

2) 相当学年

小学校	人数
1年生	6人
2年生	2人
3年生	1人
4年生	4人
5年生	4人
6年生	0人
合計	17人

中学校	人数
1年生	3人
2年生	1人
3年生	1人
合計	5人

3) 不就学の期間

期間	人数
半年未満	6人
半年～1年未満	3人
1年～2年未満	12人
2年～3年未満	0人
3年以上	1人
合計	22人

小・中学校合計 22人

実質不就学者への支援

- ・不就学判明後も家庭訪問等で状況を確認
- ・教育総合支援センターや学校（現場）への同行
- ・外国人学校や就学支援教室の案内
- ・関係機関や専門機関との連携

（経済的な問題だけでなく、保護者の無知・無関心・無理解により就学の必要性を感じていないケース、日本の学校に馴染めないことや日本語に対する不安がみられるケース、発達障害・学習障害・精神障害により就学に対する不安がみられるケース、ネグレクトやDVの虐待が疑われるケースなどの困難事例では、関係機関へ相談し、今後の支援について関係者らで話し合う場を設けた。）

■外国人学校スクールカウンセラー派遣（60回）

発達相談支援センター(ルピロ)と連携し、外国人学校にカウンセラー(ブラジルの幼児教育と心理の専門家)の派遣を行った。

これまでのカウンセリングにおいて、複雑な家庭環境により子供の情緒が安定せず、そのため友人関係や学習面に影響がみられるケースが明らかになっている。また、子供が抱えている問題は複合的であり、ネグレクトやDVなどの虐待や、発達障害や学習障害などの発達上の特性があること、家計が厳しいことなど、子供たちが様々な状況におかれていることが明らかになっている。これらの子供たちが不就学にならないようにするには継続したカウンセリングが必要である。

また、発達相談支援センター(ルピロ)と多文化共生センターにて、年間6回の連絡会を実施し、専門的見地から適切な対処法などについてアドバイスをいただいた。

派遣者：デヴィデ・ヴァンデル・ルイス（ブラジルの幼児教育と心理の専門家）

派遣先	学校名	実施スケジュール	実施回数	参加人数
	エスコーラ・アウカンセ	火曜日 9：00-14：00 /13：00-16：00	19回	80人
	ムンド・デ・アレグリア 学校	水曜日 9：00-13：00	27回	79人
	イーエーエス伯人学校	水曜日 14：00-16：00	23回	143人
	合計		69回	302人

スーパーバイザー：内山 敏氏（浜松市発達相談支援センター所長）

連絡会議	会場	実施スケジュール	実施回数
	多文化共生センター	隔月 水曜日 14：30-16：30	6回

●外国人学校カウンセリング参加人数

(人)

学校	区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計	
ア ウ カ ン セ ・ エ ス コ ー ラ	相 談	学校	3	3	17	7	1	0	0	0	31
		子供	9	2	41	30	2	2	3	0	89
		保護者	1	0	5	3	0	2	3	0	14
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門機関を紹介した者		1	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計		14	5	63	40	3	4	6	0	135
ア レ グ リ ア 学 校	相 談	学校	4	2	11	7	0	0	0	0	24
		子供	4	10	47	27	2	11	1	0	102
		保護者	4	3	7	5	1	2	2	0	24
	子供の観察		0	1	1	0	0	0	0	2	4
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		12	16	66	39	3	13	3	2	154
校 イー エー エ ス 伯 人 学	相 談	学校	0	0	6	2	0	0	0	12	20
		子供	0	0	10	7	0	2	1	0	20
		保護者	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	子供の観察		0	0	0	0	0	0	0	110	110
	専門機関を紹介した者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		0	0	18	9	0	2	1	122	152
全 体	相 談	学校	7	5	34	16	1	0	0	12	75
		子供	13	12	98	64	4	15	5	0	211

	保護者	5	3	14	8	1	4	5	0	40
	子供の観察	0	1	1	0	0	0	0	112	114
	専門機関を紹介した者	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	26	21	147	88	6	19	10	124	441

備考：

- ①学習障害の疑い
- ②学校生活習慣の問題（暴力的、ルールが守れない、社会性に欠ける、強情的）
- ③精神障害の疑い
- ④家族関係の問題
- ⑤いじめ/DV/依存症
- ⑥自殺願望/自傷行為
- ⑦疾患/特定疾患
- ⑧その他

② 定住外国人の子供の就学促進

外国籍の子供の就学促進のため、市内にある 3 つの学習機関と連携し、就学等に課題を抱える外国にルーツをもつ子供の学びの場を確保するとともに、公立学校や外国人学校等教育機関への就学につなげるために必要な支援を実施した。

■在籍数月別推移

佐鳴台教室

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	10
小学生	1	1	1	0	0	1	1	2	2	4	4	3	20
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4
学齢超過	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	28
合計	2	3	3	2	2	3	4	6	8	11	10	8	62

雄踏教室

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	7
小学生	1	3	5	5	5	7	8	8	11	10	4	7	74
中学生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34
学齢超過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	6	8	8	8	10	11	11	15	15	8	11	115

駅南教室

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学齢超過	3	4	4	4	6	6	6	6	6	7	7	7	66
合計	3	5	5	4	6	6	6	6	6	7	7	7	68

■国籍別在籍実人数 (人)

国籍	佐鳴台教室	雄踏教室	駅南教室	合計
ブラジル	10	22	0	32
フィリピン	0	0	8	8
中国	1	0	0	1
ペルー	2	0	0	2
日本(外国ルーツ)	0	0	1	1
合計	13	22	9	44

■就学実績等 (人)

就学先等	佐鳴台教室	雄踏教室	駅南教室	合計
公立小中学校	5	0	1	6
公立高校等	3	0	4	7
外国人学校	2	12	0	14
その他	3	10	4	17
合計	13	22	9	44

※その他:就職、国内外転出、継続希望等

《主な就学先》

- ・浜松市立佐鳴台小学校、新津小学校、浅間小学校、与進小学校
- ・浜松市立入野中学校
- ・静岡県立浜松北高等学校、浜松大平台高等学校、浜名高等学校、江之島高等学校、新居高等学校
- ・ムンド・デ・アレグリア学校

③ 外国にルーツを持つ青少年のキャリア支援事業

■外国につながる高校生のための就職応援セミナー (160人)

日時 6月28日(月) ①10:45~12:30 ②19:35~21:15

内容 ・正社員で働くメリットの紹介(キャリアコンサルタント 野末友貴子)
 ・外国ルーツの若者社会人からのメッセージ動画上映
 ・企業紹介(聖隷福祉事業団、常盤工業株式会社)

成果 正社員と非正規社員の待遇の違いが分かりやすく、「絶対に正社員になろうと思った」、「資格取得に励みたい」という感想が生徒から出た。外国ルーツの先輩社会人の動画によるメッセージは、「自分の人生と似ている方がいた」、「(動画で)勉強を頑張った方がいいと言っていたので、もう少し勉強を出来るようにしておきたいと思った」など、動画でも効果は感じられた。企業紹介では、業務内容だけではなく福利厚生についての関心を持ったという感想があった。

■関係諸機関とのネットワーク会議

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

■外国にルーツを持つ青少年のためのキャリア支援講座 (24人)

日時 12月13日(月) 13:30~15:00

会 場 浜松市外国人学習支援センター 大会議室

講 師 岩本由紀子（浜松市西税務署）

内 容 日本の生活習慣や文化、社会通念を知る機会として租税教室を開催。日本の税制度や税金の
使われ方を学ぶことで、納税意識を持ち、日本社会への関心を持つことを狙いとした。

参加者 24人（ムンド・デ・アレグリア学校 生徒23人、教師1人）

■定時制高校へのロールモデルによる出前授業（出張 COLORS）

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

4. 多文化防災事業（市委託：多文化共生センター事業）

① 外国人防災リーダー養成研修（22人）

第1回 「起震車による揺れの体験、防災学習センター訪問・学習」

日 時 11月27日（土）13:45～15:45

会 場 防災学習センター

参加者 10人（ブラジル）

第2回 「家庭内DIG訓練」

日 時 12月4日（土）13:45～15:45

会 場 クリエイト浜松53会議室

講 師 浜松市中区区振興課

参加者 4人（ブラジル）

第3回 「大規模地震等に備えて避難方法を学ぶ」

日 時 12月11日（土）10:00～12:00

会 場 クリエイト浜松 ふれあい広場

講 師 浜松市危機管理課

参加者 8人（ブラジル）

② 災害時多言語支援センター設置訓練（11人）

日 時 令和4年3月22日（火）14:00～16:00

会 場 多文化共生センター

参加者 11人（HICE職員11人）

内 容 自治体国際化協会の多言語表示シート等の資料を各自ホームページで確認して実際に作成、避難所での聞き取りシート等の確認、自家発電機を試動、備品の確認、避難経路の確認など

③ 災害・防災情報の提供（558件）

Facebookにおいて以下のとおり情報提供を実施した。

月	内容	件数
4月	新型コロナウイルス感染症について	16
	全国一斉情報伝達訓練「Jアラート」	1
5月	新型コロナウイルス感染症について	28
	避難勧告は廃止です	2
6月	新型コロナウイルス感染症について	56
	避難警告システムについて	4
7月	新型コロナウイルス感染症について	65

	【第3段階警報】→以下の地域で高齢者避難宣言等を発令	2
8月	新型コロナウイルス感染症について	82
	水難事故についての注意!!	3
	大雨に注意	13
9月	新型コロナウイルス感染症について	61
	避難所開設のお知らせ	3
10月	新型コロナウイルス感染症について	45
11月	新型コロナウイルス感染症について	32
12月	新型コロナウイルス感染症について	24
1月	新型コロナウイルス感染症について	30
2月	新型コロナウイルス感染症について	48
3月	新型コロナウイルス感染症について	43

グローバル感覚に優れた人づくり

1. 地域共生事業（市委託：多文化共生センター事業）

① 各地域への個別支援（7自治会から7件の相談）

自治会 北寺島西町、常磐町、竜禅寺町、湖東団地、西伝寺町、篠原東、飯田町上組

- 相談内容
- ・通訳要請（3件）
 - ・翻訳要請（3件）
 - ・交流会等の開催支援（1件）

② かわらばん「おとなりさんは外国人！」発行

新型コロナウイルス感染症拡大のため、対面セミナーは中止。

【代替案】自治会向け啓発新聞かわらばん「おとなりさんは外国人」発行

内 容 啓発リーフレット 「はままつ街のかわらばん“おとなりさんは外国人！”」を発行。
飯田町上組自治会で実施した出前講座を取材したものを記事として掲載。講座を企画した役員の方のインタビューや、出前講座の利用方法、他自治会の多文化共生センター利用例を紹介し利用を促した。また、浜松に外国人が多く住む歴史的な理由や人数、在留資格、国籍の割合など基本情報、やさしい日本語のコツと例文を紹介した。

サイズ A3 二つ折り タブロイド版

発行部数 5000部

発行時期 令和4年2月

配布先 単位自治会 744

HICE 会員 700

その他希望者 HICE NEWS 配布先の公共機関など

③ ブリッジビルダー育成（73人）

「実務セミナー 在住フィリピン人事情」

日 時 3月11日(金)13:30~16:40

会 場 オンライン開催 (ZOOM)

内 容 ①外国人労働者の生活の現実～ハケンで働くということ」

講師：(高畑幸 静岡県立大学教授)

②「やさしい日本語」～外国人に伝わる日本語を学ぼう

講師：(U-ToC 地域日本語コーディネーター)

参加者：73人（社会福祉協議会職員、民生委員、保護士、行政書士、弁護士、保育士、市職員、労働基準監督署職員など外国人支援に職務上の関わりがあり、地域コミュニティにおいても外国人住民との相互理解を進める人材となりうる人）

2. 多様性を生かしたまちづくり事業（市委託：多文化共生センター事業）

① はままつ多文化共生 MONTH(月間)事業

多文化共生啓発アニメーション動画「わたしたちは 浜松人」を制作した。内容は、中学生にも理解できる程度とし、①浜松市に住む外国人の人数・多い国クイズ ②ブラジル人が多い理由（日系ブラジル人の歴史） ③外国人の来日理由、在住理由 ④「外国人」「日本人」の境とは？ ⑤暮らしていくうえで大切なことは？ とした。学校等での出前講座や視察対応で動画を流し、分かりやすいと好評だった。

②文化・スポーツ紹介（7件）

Facebookにより浜松市内の主要な文化・スポーツイベント等についての情報を多言語で提供。
合計7件

③地域活性化事業

■（在住外国人向け）「障がい者介護職とは？」（16人）

日時 9月17日（金）・21日（火） 9：00～16：30

会場 多文化共生センター

参加者 16人（ブラジル人16人）

内容 1）強度行動障害について
2）障害のある方の支援の基本と様々なアイデア
3）現場のリアルな実践報告など

共催 NPO法人クリエイティブサポートレッツ

成果 障がい者介護職という新しい職種について在住外国人に知ってもらう機会となった。参加者は「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」・「重度訪問介護従業者養成研修の行動障害支援過程修了証を取得することができた。

■外国につながる高校生のための就職応援セミナー（160人）

日時 6月28日（月）10：45～12：30／19：35～21：15

会場 静岡県立浜松大平台高校

対象 定時制Ⅰ・Ⅱ部の3・4年生、定時制Ⅲ部の1～4年生 合計約160名

内容 日本での就職について考えるセミナーを実施。
第1部：正社員で働くことのメリット（キャリアコンサルタント 野末友貴子）
第2部：外国ルーツの若者からの就職アドバイス動画の上映
第3部：企業紹介（株式会社常盤工業、社会福祉法人聖隷福祉事業団）

④インタラクティブ・インターンシップ（市補助：産業振興課）（19人、8社）

静岡大学及び経済同友会と連携して、留学生及び企業に呼びかけ、2週間程度のインターンシップを実施した。インターンシップ・アドバイザー（IA）を各企業に1人配置し、企業と留学生の間のやり取りの支援をすることによって、企業・留学生のお互いにとって言語的・心理的な障壁を低くしながら効果的なインターンシップ事業になるような工夫を取り入れた。事業の全体監督者は藤巻義博氏（静岡大学特任教授）。

【前期】8月～9月

留学生 19人（33人希望のうち）：静岡大学工学部・情報学部

：インド2、バングラデシュ2、インドネシア3、ベトナム8、タイ2、ミャンマー1
スーダン1

：修士6、学士10、博士2、既卒1

企業 8社：（株）ソミックマネジメントホールディングス、レクソル（株）、（株）横田輪業、ASTI（株）
（株）榛葉鉄工所、共和レザー（株）、（株）ヴォンエルフ、A. I. S（株）

⑤フェスタ・サンバの運営

HICEが実行委員会事務局として運営。新型コロナウイルス感染症予防のため、ウェブ開催とした。

■開催内容

（1）ウェブコンテスト

応募期間：令和3年8月2日～11月7日

投票期間：令和3年11月25日～12月19日（グーグルフォームを利用）

投票数：430票

審査日程：令和3年12月24日（実行委員による対面審査会）
 表彰式：令和4年1月23日（オンライン会議システム Zoom を利用）
 審査結果：最優秀賞 G.R.E.S. アカデミコス ダ グローリア
 優秀賞 ウニアン・ドス・アマドーリス
 特別賞 オ・ペイシ・キ・ヒ ナゴヤエンシ
 オーディエンス賞 リベルダージ

(2) サンバ入門動画の制作

浜松市内のサンバチーム「ブラジリダージ」の協力のもと、初心者向けにサンバの歴史や基本ステップのレクチャー動画を制作、YouTube 上に公開した。

(3) ウェブフェスティバル動画の制作

課題曲に合わせて踊ったサンバ動画を市民からフェスタ・サンバ公式 LINE アカウントで募集し、コンテスト参加チームの動画作品と合わせて、1本の動画を制作した。

■実行委員一覧

中央地区自治会連合会	会長 村井 秀行
浜松まちなかにぎわい協議会	事務局長 斉藤 恵一
在浜松ブラジル総領事館	領事 バストス カルロス フレデリコ
浜松市鴨江アートセンター	館長 村松 厚
日伯交流協会	理事 小田木 基行
浜松市	国際課長 鈴木 三男
(公財) 浜松国際交流協会	業務執行理事 佐藤 洋一

⑥シンポジウム「多様性を生かした企業づくり」(市委託：多文化共生センター事業)

浜松市がアジアで初めて欧州諸都市を中心としたインターカルチュラル・シティ加盟都市として、文化的多様性をまちづくりに生かす取り組みを進めていることの一環として、外国人材が安心・安全に働くことができる就労環境づくりをすすめるほか、能力発揮・活躍促進・職域拡大に努める市内の事業所を認定する「浜松市外国人材活躍宣言事業所認定制度」を新たに設けるにあたり、記念シンポジウムを開催した。

日 時 10月29日(金) 14:00~16:00

形 式 オンライン

内 容 【第1部】基調講演「多様な人材を輝かせる企業であるために」

講師：馬越恵美子（桜美林大学教授・異文化経営学会会長）

【第2部】パネルディスカッション

石川雅洋（㈱ソミック石川代表取締役社長）

早川和幸（㈱静岡県セイブ自動車学校代表取締役社長）

鈴木康友（浜松市長）

モデレーター：池上重弘（静岡文化芸術大学教授）

コメンテーター：馬越恵美子（桜美林大学教授・異文化経営学会会長）

参加者 150名

⑦浜松市外国人材活躍宣言事業所認定事業（市委託：国際課）

外国人材の活躍推進に積極的に取り組んでいる事業所を対象に、チェックリスト等に基づき審査をし、優良事業所として認定した。認定された事業所は、浜松市公式ホームページにおいて公表されるとともに、浜松市の発注する建設工事、物品購入、業務委託において優遇措置を受けられる。また、また、認定マークの使用が可能になる。

応募事業所数 25 事業所

認定事業所数 20 事業所

認定事業所名 ムラマツグループ（辻精機㈱・廣川精機㈱）、㈱静岡県セイブ自動車学校、㈱マルハナ、㈱丸八アセットマネジメント、山崎電機産業㈱、ヘルツ電子㈱、遠州信用金庫、(社福)天竜厚生会、㈱アイケア、㈱ソミック石川、(社福)慈悲庵、MPP KOMATSU㈱、(社福)慶成会、遠州鉄道㈱、㈱モアソンジャパン、㈱シーポイント、㈱マル善トーカイ、(有)東洋商事、㈱共同、㈱小松組

授与式 3月12日（土） 会場：可美公園ホール

3. グローバル人材の育成と活用

① 地球人教育出前講座及びコーディネート（市委託：多文化共生センター事業）

■学校等への派遣

学校名	派遣人数		対象/参加者数
	登録ボランティア	専門職員	
ルネサンス・デザイン美容専門学校	2人	1人	専門学校生 29名×3回
静岡県立大学		1人	大学生 50人
常葉大学（経営学部）		1人	大学生 53人
常葉大学（外国語学部）		1人	大学生 120人
浜松日本語学院		1人	日本語教師養成講座受講者 15人
浜松学院高校		1人	高校1年生 30人
浜松湖南高校	1人	2人	英語科2年生 40人×2回
浜名高校	1人		高校1年生 370人、職員 25人
浜松市立西小学校	3人		6年生 43人
浜松市立看護専門学校	4人	延べ8人	看護学生 80人
浜松医科大学大学院（助産学）		1人	大学院生 5人
合計 11校	合計 28人		合計 958人

■協働センター等への派遣・コーディネート

派遣先名	派遣人数		対象/参加者数
	登録ボランティア	専門職員	
浜松市立青少年の家	1人		小学生 20人
飯田町上組自治会		2人	住民 20人
合計 2か所	合計 3人		合計 40人

■団体等への講師派遣・コーディネート

派遣先名	派遣人数		対象/参加者数
	登録ボランティア	専門職員	
移民政策学会		1人	会員 127人
浜松市社会福祉協議会		1人	一般 168人
JP-MIRAI		1人	一般 110人
浜松西ロータリークラブ	2	1人	ロータリアン 30人×2回
浜松中ロータリークラブ		1人	一般 42人
NPO 法人フィリピンナガイサ		1人	日本語教育関係者 35人
東京外国語大学		1人	大学生 36人
NPO 法人可児市国際交流協会		1人	日本語関係、地域住民 15人
聖隷クリストファー大学社会福祉学会		1人	一般約 80人
JICA 国内事業部外国人材受入支援室		1人	国際協力推進員 20人
袋井市役所		1人	職員 73人
袋井市役所地域共生コミュニティ会議		1人	委員 25人
自治体国際化協会		1人	自治体職員等 413人
浜松市外国人市民共生審議会		1人	外国人審議委員 10人
日本語教師のキャリアパス研究会（常葉大学）		1人	研究員 8人
合計 15か所		合計 17人	合計 1,222人

■学校・団体等からの訪問受け入れ

学校名・団体名	訪問先・期間		訪問者数
	多文化共生センター	外国人学習支援センター	
浜松学院大学（インターンシップ）	48日	3日	2人
浜松いわた信用金庫（インターン生）	2日		6人
ルネサンスデザイン・美容専門学校	1日		4人
横浜国立大学大学院国際社会科学研究院	1日		4人
武蔵野美術大学	1日	1日	1人
慶應義塾大学医学部	1日		4人
（公社）シャンティ国際ボランティア会	1日		1人
JICA 中部（教師国内研修）	1日		15人
静岡大学地域創造学環	1日		1人
ジュネーブ大学大学院	1日		1人
浜松市立富塚中学校3年生	1日		3人
浜松市立富塚中学校1年生	1日		5人
浜松市立南陽中学校1年生	1日		10人
浜松医科大学大学院	1日		1人
九州大学芸術工学研究院	1日		1人
中央大学法学部	1日		1人
東北大学	1日		1人
国際教養大学	1日	1日	1人
北海道苫小牧市国際リゾート戦略室	1日		3人
岐阜聖徳学園	1日		1人
藤枝市		2日	1人
NTT データ経営研究所		1日	1人
文化庁		1日	2人

海城中学校3年生		2日	2人
JICE		1日	3人
亜細亜大学		1日	1人
合計 26 団体		延べ 81 日	合計 76 人

②グローバル人材セミナー（市委託：多文化共生センター事業）（116人）

■映画「プラスチックの海」鑑賞&SDGsを考えるワークショップ

日 時 2月13日（日）

場 所 クリエイト浜松2階ホール

参加者 116人（上映会80人、ワークショップ36人）

内 容 「プラスチックの海」を鑑賞し、希望者によるSDGsを考えるワークショップをオンラインで行った。

③国際理解教育講座（自主事業）（38人）

■「国際理解教育ファシリテーター養成講座」

場 所 浜松市多文化共生センター

主 催 はままつ国際理解教育ネット

共 催 JICA 中部

テーマ 「ゼロから学べる国際理解教育ワークショップ術」

内 容 高校生以上を対象に、多文化共生、貧困、環境問題などの今日的課題を通じた国際理解教育に関する概要を学ぶとともに、ファシリテーターとしてのスキルの取得を目指す連続講座。

参加者 高校生9人、教員7人、その他22人

	日 時	内 容	講 師	参加者
1	7月18日（日） 10：00～17：00	SDGsと地球的課題 理論、アクティビティ	はままつ国際理解教育ネット	21人
2	7月25日（日） 10：00～17：00	参加型手法の体験 アクティビティ作り		17人

④第12回はままつグローバルフェア（自主事業）

目 的 広く市民（特に次世代を担う子ども・若者）に呼び掛け、国際交流に参加するはじめての
一歩の機会とし、文化を通じた多文化共生の社会づくりにつなげる。外国人と日本人同
士の交流の場を提供し、気軽に多くの方に参加してもらおう機会とする。

日 時 令和4年2月13日（日）、3月12日（土）

場 所 Zoom、クリエート浜松2階ホール

日時・会場	実施主体	内 容
2月13日 10：30～12：15 2階ホール	多文化共生 センター	映画「プラスチックの海」上映 参加人数：80人
2月13日 12：30～14：00 Zoom	外国人学習 支 援 セ ン タ ー	ワクワクドキドキ天竜日本語教室発表会 参加人数：35人
2月13日 14：00～15：30 Zoom	はままつ国 際理解教育 ネ ッ ト、 HICE	映画「プラスチックの海」を見てワークショップで考える 参加人数：36人

2月13日 13:00~14:30 Zoom	NPO 法人 フィリピン ナガイサ	フィリピン語スピーチコンテスト
3月12日 19:00~20:30 2階ホール	HICE	日本ブラジル移民劇 上映+トーク 参加人数: 60人
2月13日~3月31日 【YouTube】	HICE	異文化理解講座「レソト王国ってどんなところ？」
2月13日~3月31日 【YouTube】	HICE	異文化理解講座「やっぱり大好き！インドネシア」
2月13日~3月31日 【YouTube】	HICE	異文化理解講座「ジャンテチャイ！バンングラデシュ」
2月13日~3月31日 【YouTube】	HICE	異文化理解講座「世界に広がるカラフルな味インドの食文化」
2月13日~3月31日 【YouTube】	外国人学習 支援セン ター	在住外国人が通う日本語教室って？ 「日本語で自己紹介」
2月13日~3月31日 【YouTube】	外国人学習 支援セン ター	在住外国人が通う日本語教室って？ 【多文化体験講座】浜松まち歩き
2月13日~3月31日 【YouTube】	外国人学習 支援セン ター	在住外国人が通う日本語教室って？ U-ToC 日本語教室できいてみた！あいさつ編
2月13日~3月31日 【YouTube】	外国人学習 支援セン ター	在住外国人が通う日本語教室って？ 日本語教室の思い出~2021 上半期~

⑤多文化体験・交流事業(市委託:外国人学習支援センター事業) (80人) (前年度 86人)

外国人市民と日本人市民が相互の文化を理解し、市民同士の交流を深める体験講座。

■多文化体験(受講者数 延べ80人)

	日程	コース	講師	参加者
1	5月26日(水) 10:00~11:30	浜松まち歩き	With U-Net	29人
2	7月27日(火) 10:10~12:30	防災訓練	内山兼輔 (浜松市西区区振興課)	14人
3	12月13日(月) 13:30~15:00	税金って何?	岩本由紀子 (浜松市西税務署)	17人
4	1月12日(水) 10:00~12:30	防災訓練	内山兼輔 (浜松市西区区振興課)	20人
合計				80人

4. 国際交流・国際理解事業

1) 外国語講座

①国際交流のための外国語講座(自主事業)(61人)(前年度 53人)

■国際交流のためのベトナム語講座：初級（全12回）

講師 坂井亜美
日程 火曜日 19:00～20:30

第1期	5月11日～7月27日	7人	受講者 合計14人
第2期	9月14日～11月30日	7人	

■国際交流のためのポルトガル語講座：初級（全12回・第3期8回）

講師 柳澤クリスティーナ
日程 木曜日 19:00～20:30

第1期	5月13日～8月19日 ※7/22, 29休	10人	受講者 合計25人
第2期	9月16日～12月2日 ※11/23休	8人	
第3期	1月13日～3月3日 ※2/10休	7人	

■国際交流のためのタイ語講座：初級（全12回）

講師 植木チュダー
日程 金曜日 19:00～20:30

第1期	5月14日～8月6日 ※7/23休	7人	受講者 合計7人
第2期	中止	0人	

■国際交流のためのスペイン語講座：初級（全12回）

講師 野国マリエラ
日程 金曜日 19:00～20:30

第1期	5月14日～8月6日 ※7/23休	7人	受講者 合計15人
第2期	9月10日～11月26日	8人	

②国際交流のための外国語サロン（自主事業）（9人）（前年度251人）

■英語を通じて世界を知ろう！「世界のE-文化」イタリア

日時 5月16日（日）、13:30～15:00

参加者 9人

会場 オンライン講座

2）交流イベント（自主事業）

①世界を知ろう！異文化理解講座（180人）

オンラインの強みを生かし、各国からの中継や動画を用いテーマに沿って文化紹介を行った。

会場 オンライン講座

日程	内容	参加者
9月26日（日）	レソト王国ってどんなところ？（レソト王国）	51人
10月24日（日）	やっぱり大好きインドネシア（インドネシア）	50人
12月12日（日）	ジャンテチャイ！バンングラデシュ（バンングラデシュ）	35人
1月30日（日）	世界に広がるカラフルな味インドの食文化（インド）	44人
合計		180人

②未来の展示会（294人）

手塚治虫とブラジルの国民的漫画家マウリシオ・デ・ソウザの友情をベースに両作家の作品を紹介し、日本とブラジルのパートナーシップを表すとともに在日ブラジル人コミュニティ30周年

を記念して開催。

場 所 クリエート浜松 3階 ギャラリー35

共 催 在浜松ブラジル総領事館

日 時 5月19日～6月6日、10:00～17:00

参加者 294人

③寸劇「ブラジル×日本 融和のあゆみ」

ブラジル人ママの会「セメンチーニャ」と協働で企画した寸劇「ブラジル×日本 融和のあゆみ」を上演。日本人がブラジルへ移民した歴史や、彼らが日系ブラジル人として日本へ戻ってきた背景と日本での生活が、セメンチーニャメンバーや彼らの祖父母の実体験をもとに演じられた。

■浜松市立開成中学校

日 時 11月11日(木) 13:30～15:00

参加者 196人(中学1年生177人+教員13人)

■HICEグローバルフェア 劇+トーク「ブラジル×日本 融和のあゆみ」

場 所 クリエート浜松 2階 ホール

日 時 3月12日(日) 19:00～20:30

参加者 60人

5. 担い手の育成：ボランティア活動支援事業（自主事業）

①HICE ボランティアバンクの運営（2,865人）（前年度2,669人）

通訳・翻訳、日本語教育、ホームステイ、イベント、出前講師に関する市民ボランティアの活動を推進した。

<ボランティアバンク登録人数> 6区分

出前講師ボランティア	237人
通訳・翻訳ボランティア	577人
日本語教師ボランティア	556人
ホームステイボランティア	345人
情報提供ボランティア	210人
イベントボランティア	940人

合計： 延べ2,865人

6. 担い手の支援：国際交流活動支援事業

①多文化共生・国際交流推進事業費助成金の交付（申請26件確定22件）（前年度23件）

浜松市内で活動する多文化共生・国際交流関係団体を支援するため、多文化共生・国際交流推進事業費助成金を交付した。

(円)

No.	主催団体	対象事業	交付確定額
1	NPO法人A I P E A C E	日本語及び日本社会に関する学習支援事業	403,000
2	NPO法人A R A C E	A R A C E 希望放課後教室事業	407,000
3	K S C 子どもサポーターズクラブ	外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援	350,000
4	G C C 中国語教室	G C C 中国語教室	360,000
5	そらの会	放課後そらの会	298,000

6	中国文化交流会	中国人のための日本語勉強会	67,000
7	Don・Bosco 学習支援グループ	日本語及び日本社会に関する学習支援事業	500,000
8	NPO法人日本語教育ボランティア協会	ジャボラ日本語教室	400,000
9	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	中学校放課後学習支援教室 アイスプラネット	126,000
10	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	外国につながりをもつ子供のための就学前支援教室「つくしっこ」	77,000
11	NPO法人浜松外国人子ども教育支援協会	未来へはばたけ！ 「まつっこ」カミーズ計画	171,000
12	NPO法人浜松日本語・日本文化研究会（にほんごNPO）	外国人住民に対する日本語学習支援「にほんご日曜教室」	125,000
13	NPO法人浜松日本語・日本文化研究会（にほんごNPO）	外国人住民に対する日本語学習支援「にほんご木曜教室」	200,000
14	浜松ペルー協会	スペイン語教室（プロジェクト レンガア エスパニョウラ）	164,000
15	NPO法人フィリピンナガイサ	定住フィリピン人青年のための進路支援事業	210,000
16	三ヶ日日本語教室	三ヶ日日本語教室	78,000
17	YACHAY	スペイン語 読み・書き・会話教室YACHAY	461,000
18	龍の会	外国籍児童生徒への日本語教育及び学習補助支援	182,000
19	わたぼうしブランドデザイン	H I S ハイブリッドクラス	33,000
20	浜松市浜北日中友好協会	日中友好交流事業	47,000
21	HAND s (Hamamatsu and Davao Smile project)	浜松多文化共生音楽交流プロジェクト	63,000
22	NPO法人 楽舎	異文化での暮らし方・つきあい方：ZOOM ミーティング	66,000
合計			4,788,000

②天竜地域事業

■日本語教室（市委託：外国人学習支援センター事業）

期 間 4月11日～3月27日 日曜日 10:00～11:30 全34回

場 所 二俣協働センター他（天竜区二俣町）

内 容 生活に役立つ日常会話

受講者 登録者数 11人 参加者数 延べ183人

国 籍 インドネシア、ブラジル、タイ、中国

■英会話教室（自主事業）

場 所 二俣協働センター

講 師 フォーシーズンズ外語学院より派遣

コース	前期	参加者	後期	参加者
初級 (月) 10:00～11:30	4月19日～8月23日 全15回	6人	10月18日～3月7日 全15回	6人
上級 (木) 19:30～21:00	4月15日～8月19日 全15回	5人	10月14日～2月3日 全15回	4人
合計 21人				

■協働センターでのふれあいまつり参加（自主事業）

光明ふれあいセンター、二俣協働センターにて開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

③セミナールームの活用（市委託：多文化共生センター事業）（6,245人）

浜松市多文化共生センターのセミナールームをオープンルームとして一般に公開するとともに、講座・セミナー等の事業活動に利用した。
年間利用者数 6,245人

④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：多文化共生センター事業）

■多文化共生活動団体への支援及び助言

- ・外国にルーツを持つ若者グループ（COLORS）活動支援
ロータリークラブから支援金をいただき、カラーズ独自のホームページを作成することにより、ウェブ上でも外国ルーツの若者に向けた情報提供等ができるようにした。
- ・国際理解教育活動を進める市民グループ（はままつ国際理解教育ネット）の活動支援
国際理解教育の担い手となる人材育成のための「国際理解教育ファシリテーター養成講座」（対面）の開催を支援。（2回）
7月18日（日）、7月25日（日）
- ・フェアトレード推進の市民団体「はままつフェアトレードタウンネットワーク」の活動支援
フェアトレードを推進する浜松市市民団体の定例ミーティング（月1回程度）の開催、イベント（オンラインセミナー）の開催支援。
- ・市民団体「一般社団法人日本レソト王国協会」の活動支援。
「世界を知ろう！異文化理解講座アフリカ・レソト編：レソト王国ってどんなところ？」（オンライン）を開催し、レソト理解の推進を支援した。 9月26日（日）

■多文化共生活動者ネットワーク化事業 「補助金説明会&国際交流・多文化共生情報交換会」

日 時 1月15日（土）14：00～16：00
会 場 多文化共生センター
参加者 7団体10人

7. 情報収集・提供事業

①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）

当協会の活動内容や講座等を掲載。日本語、ポルトガル語、英語の三ヶ国語で発行し、HICE 会員や外国人児童生徒の保護者、外国人学校、協働センター等の公共機関に配布・設置した。

発行部数：日本語版 1,900部 ポルトガル語版 2,200部 英語 900部 合計 5,000部
発行回数：毎月1日発行（1月を除く） 年11回

②ホームページのリニューアル・運営（自主事業）

ホームページアクセス合計数 103,977件

はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト（HAMAPO）開設（令和4年1月26日）

令和4年1月26日～3月31日（HAMAPO）

	日本語	ポルトガル語	英語	やさしい日本語	ベトナム語	フィリピン語	スペイン語	中国語	インドネシア語
HAMAPO	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年4月1日～令和4年1月25日（旧サイト）

	日本語	ポルトガル語	英語	中国語
HICE	○	○	○	-
多文化共生センター	○	○	○	○
外国人学習支援センター	○	○	○	○

③Facebookの運用（自主事業）

会員日本語・ポルトガル語・英語の3言語併記によるFacebookを運用。その他、ベトナム語、スペイン語、フィリピン（タガログ）語による「Consultation Hamamatsu」Facebookも別途運用し、多言語による情報提供を行った。

④Instagramの運用（自主事業）

HICEのInstagramを立ち上げ、試行的に情報発信を開始。日本語で各種事業やイベント案内、各国事情、職員紹介等を楽しく行った。

⑤HICEinfoメールによる情報配信（自主事業）

会員・ボランティア等に情報を配信。年間29回配信。
配信先 3,698人

⑥情報カウンターの設置（市委託：多文化共生センター事業）（1,882人）

外国人市民・日本人市民に対し、必要な情報を提供した。コロナ禍で対面での訪問は減少傾向。

延べ提供数	外国人	日本人	合計
	1,154人	728人	1,882人

事業報告の附属明細書

令和3（2021）年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款8条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。